

循環型藻場造成「積丹方式」による ウニ増殖サイクルとブルーカーボン創出プロジェクト



北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会

*東しゃこたん漁業協同組合 *美国・美しい海づくり協議会 *余別・海HUGくみたい *積丹町 *株積丹スピリット

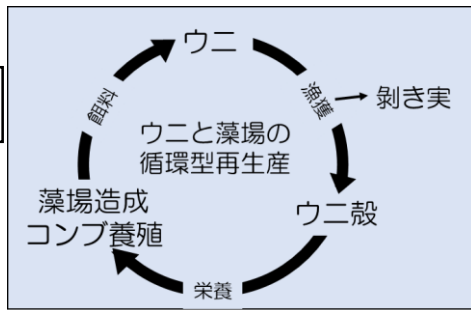
プロジェクトの概要

- 積丹町は「積丹ブルー」と呼ばれる美しい海と高品質で名高い「積丹ウニ」を求めて全国から観光客が訪れる漁業と観光の町です。
- 磯焼けの拡大と共にウニの生産量は減少傾向を示し、平成21年度から漁業者団体が藻場造成活動を継続し成果を挙げました。本プロジェクトは地球温暖化の緩和策、またSDGsともなる「積丹方式」でのブルーカーボンの更なる拡大と継続を目的とします。



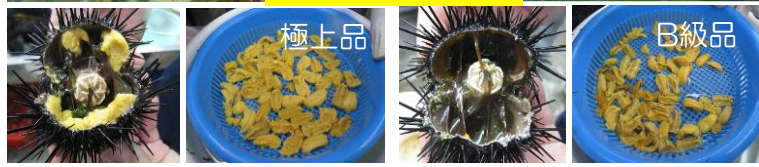
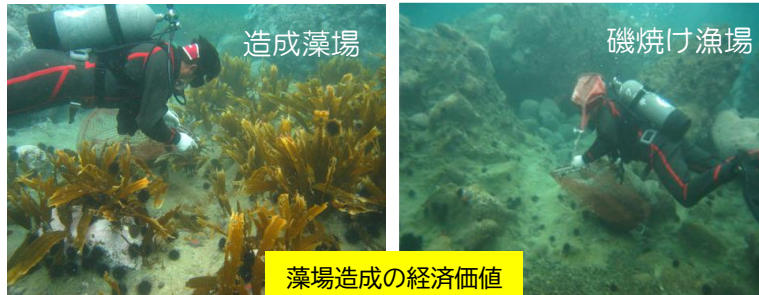
プロジェクトの特徴・PRポイント

- 継続的なウニ密度管理や母藻投入に加え廃棄処分していたウニ殻を天然ゴムで固めた「ウニ殻肥料」を使い藻場造成に成功、「ウニと藻場の循環型再生産」「積丹方式」を確立し持続可能なウニ漁業を実践しました。
 - ★「第26回全国青年・女性漁業者交流大会」で最高賞の”農林水産大臣賞”受賞
 - ★水産庁監修「磯焼け対策ガイドライン」第3版に掲載
- 造成藻場の経済価値を算出すると次のようになり、さらに、生物多様性の効果も増大します。



食料供給	ウニ剥き実の年間生産量約444kg 年間で約3,550万円の増加
水質浄化	下水処理費用に換算すると年間で約3,400万円相当(水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン参考)

- 環境教育活動として都市部の児童や一般住民を対象に、ウニの生態を基本とした藻場造成や環境保全の重要性を解説するセミナー(ウニの学校)を令和3年度から開催しています。
- 株積丹スピリットが運営する「海森プロジェクト」から藻場造成活動への支援も受けています。



環境教育活動(ウニの学校)
都市部の児童や住民を対象にウニの生態を基本とした藻場造成や環境保全の重要性を解説するセミナーを開催